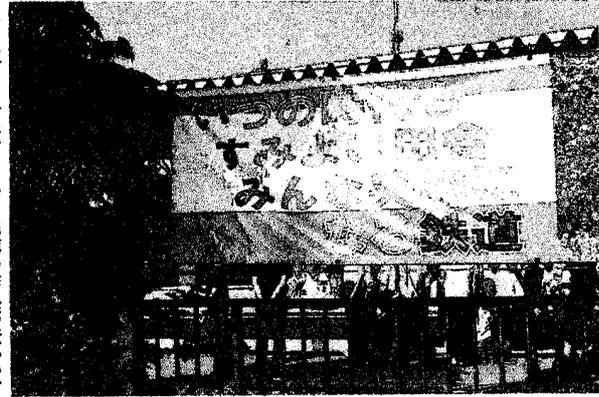


# 風 (現場) から

宮田守男



駅に掲げられたバナーから地域の情熱が伝わってくる

伊藤誠一さんの書書「バスガイド流プレゼン術」でバスガイドさんの役割、取り組みの中からビジネスプレゼンターにおけるプレゼンターが見習うべきポイントが書かれた内容を思い出す。「事前に万全の準備を抜かりなく行う段取り力」、「聴き手の要求と喜びのツボを探る創造力」、「可能な限り話をわかりやすく噛み砕く具体力」すべてを結集するコミュニケーション」なのだ。

## 地域の課題に取り組んでいる現状を見る旅に出掛けてみませんか

7月上旬、地域の経営者の皆さんと関東・房総方面を訪ねる。添乗員とバスガイドの活躍で楽しい旅となった。経験豊富なバスガイドの案内や接客。その話術が車内を盛り上げた。

バスガイドの話術は培った実践力そのものだ。旅行のガイドでなく、具体的な「すべてを結集するコミュニケーション」なのだ。

期限を定めて、収支改善が見込めない場合、鉄道の廃止を検討する、との覚悟がはじめにあったのだ。08年のオリジナル商品販売。09年からムーミン列車の運行。10年から運転手養成のための訓練費を運転手自らが負担させ列車運転免許を取得させ採用する等の経営努力。それらの取り組み成果で存続が条件付きで決定。

その後も昭和の国鉄形気動車キハ28の導入による「レストラン・キハ」を活用した「イタリアン・ランチタルー・ストレーン」、伊勢海老特産・お刺身列車「和菓子列車」など、大勢の利用が話題となっている。乗車したムーミン列車は、地域住民を含め複雑して

いた。車体や列車の中にもムーミンが描かれている。ファンランドの作家トーウェ・ヤンソンが生んだムーミン。深谷のある岩崎嵐雲がムーミン谷に似ているのが理由だと知る。車両は吉野6両、それぞれにメーンを添えて、再度訪れたくなる工夫もさすがだ。

列車、駅舎、ベンチ、看板も黄色で統一、楽しさを演出する。イベントの無い列車体験だったが、車両最前部の窓に張りつけられる風景は、故郷の情景だ。短かい橋を何か所の通過、まるでおちおちの世帯感。ついJR東日本鉄道のエゴ・エゴ・エゴが響くとレールになる。このコマシヤルを思い出して旅行を楽しんでいる自分がある。

民間会社の運行する路線と考えると、もっと真剣な取り組みが路線自治体関係者によってできないのかと思ったのは私だけではないはずだ。

今回が訪れた事のある宿に泊まる。今回は新鮮な体験はなかったと朝バスに乗車、全員が乗車すると若い女性が入り込んでますがすがしいあじさつ。意外な体験に宿の印象が良くなってしまふ。窓を開き、男性従業員が「若女将と申すは、若女将でも仲良しで無いです」と笑顔で教えてくれる。すかさずバスガイド「笑顔はすてきでしよう、私たちも見送りの皆さんに笑顔でレムアドバイス。」笑顔の大切さと有難さを改めて知る。

ち地域のJR大糸線、アルプスのハイジも有りなのかと単純に思っています。

東京湾フェリー、低価格や各種取り組みをしてもマンマラインの影響を受けて着くほどの乗客数の少なさを、6月末、開通した首都圏中央連絡自動車道(相模原相川インターチェンジ)高尾山インターチェンジ)を利用して、刻々変化する広域ネットワークが体験できた旅でもあった。自分たちが暮らす地域を考えると、姿を現し続ける他の地域を見ることが大切だと改めて考えさせられた機会でもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森七)

い、ビジネス提案のプレゼン内容だったたり、つい買ってしまった。楽しそうに見つめる経営者、これからの経営の参考になってほしいと願ってしまふ。

経営者参加の旅らしい企画があった。いすみ鉄道・ムーミン列車の乗車だ。千葉の商賈総エリアを走るいすみ

鉄道(株)、国鉄特定地方交通線だった木原線を引き継いだ沿線自治体などが出資する第三セクターの鉄道事業者だ。赤字経営を解消するための積極的な事業展開していること、知られていない。見習わなければいけない点がある。

ごに気づく。下車駅で女子高校生に聞くと、「ポランテマ団体・いすみ鉄道応援団が植えた菜の花と桜が咲く4月が良いです。」各駅知恵を絞ったいろいろな取り組みが面白い」と教えてくれる。女子高校生の真剣な受け答えからも、地域に大切にされているのだと感じる。私た